

【加盟団体紹介】

神奈川県野球連盟

理事長 小林 三郎

1. 昭和 21 年設立 当連盟は終戦直後、暫くの中断から再興への声を挙げ結成された全日本軟式野球連盟（全軟連）の創立総会に率先して参加し、設立されました。全軟連創立総会は、昭和 21 年 8 月 26 日岸記念体育館（東京）で開催され、当連盟から初代会長鳥山数衛氏が出席しました。この日が当連盟の設立日になっています。（昭和 32 年発行「神奈川県軟式野球年鑑」による）

設立時の主要役員は、会長：鳥山数衛、副会長：山口久像、理事長：根本彦次郎の各氏で、傘下の支部は横浜、川崎、横須賀、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、小田原の 7 支部でした。設立時から昭和 32 年までは「神奈川県野球協会」と称していました。

2. 24 支部で構成 上記年鑑によれば、昭和 32 年当時、当連盟は 16 支部で構成されていました。規約により行政区域単位に支部を設置することとし、現在は次の 24 支部で構成されています。横浜、川崎、横須賀、三浦、逗子、葉山、鎌倉、藤沢、綾瀬、茅ヶ崎、平塚、二宮、寒川、小田原、南足柄、足柄上、厚木、秦野、伊勢原、愛川、大和、相模原、海老名、座間

また、24 支部を次の 8 つのブロックに編成して、運営にあたっています。横浜（横浜市全域）、川崎（川崎市全域）、横三（横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町）、湘南（鎌倉市、藤沢市、綾瀬市）、湘西（茅ヶ崎市、平塚市、二宮町、寒川町）、県西（小田原市、南足柄市、足柄上郡）、県北（厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町）、県央（大和市、相模原市、海老名市、座間市）

3. 会議・専門部会 当連盟の会議として、理事会（最高議決機関）、常任理事会（事業の執行機関）および専門部会（事業執行の補助機関）があります。現在、専門部会は次の 5 つです。総務部会（総務庶務に関する事項）、財務部会（財務会計に関する事項）、競技部会（主催主管する大会に関する事項）、少年部会（少年野球に関する事項）、審判部会（審判に関する事項）

4. 本部役員 会長：三好吉清 副会長：菅原 勉・松野 皎・山口 宏 理事長：小林三郎 副理事長：中島久敏（財務部長）・高橋 章・丸山 隆（総務部長） 常任理事：栗原和務・桜井孝夫・杉山孝文・藤木治生・磯貝 健（競技部長）・工藤 勉（審判部長）・今村勝也（少年部長） 会計：小清水文男 監事：桜井孝夫・寺澤 正 理事：19 氏（省略）

5. 事業 当連盟の事業のうち、軟式野球神奈川県大会の主催および上部大会（全国大会・関東大会）の主管について紹介します。

県大会主催 一般の大会は、天皇賜杯全日本軟式野球大会県予選、国民体育大会軟式野球競技県予選、神奈川県知事杯争奪軟式野球大会（以上 A クラス）、高松宮賜杯全日本軟式野球大会県予選（1 部 B 級・2 部 C 級）、東日本軟式野球大会県予選（1 部 B 級・2 部 C 級）です。ほかに、学童、少年（中学）、壮年（40 歳以上）、還暦（60 歳以上）の大会を主催しています。

上部大会主管 上部組織からの要請に基づき、上記の天皇賜杯大会、国体軟式野球競技、高松宮賜杯大会、東日本大会の全国大会および関東大会の主管を担当しています。

また、今年で 30 回を数える全日本少年軟式野球大会（主催：全軟連・横浜市、横浜スタジアムで開催）の主管を、地元横浜野球連盟の協力を得て、昭和 59 年の第 1 回から続けています。この大会は、北は北海道から南は沖縄まで、全国の中学生チーム（クラブおよび部活動）の日本一を決める大会であり、中学生から「中学生の甲子園」として憧れの的となっています。



【写真：第 29 回全日本少年軟式野球大会開会式】